

GRAND DECLARATIONS

いくつかの重要な宣言

— Study Guide 1 —

スタディー ガイド 1

アーラーダナ マホーツァヴァム

2021年4月24日



“私には「仕事」があります。人類すべてを育み、彼らすべてにアーナンダ（至福）の生活をもたらすという仕事。私は「誓い」ます。道に迷った人々を再び善なる道へと導き、彼らを救い出すことを。私は「仕事」を愛しています。貧しい人々の苦しみを取り除き、足りないものを与えるという仕事を。私には「誇りに思う理由」があります。なぜなら私は、私を礼拝し、私を崇めるすべての人を救済するからです。私には「帰依」について私なりの定義があります。私は私に帰依する人々に、喜びと悲しみ、利得と損失を、同じような毅然(きぜん)とした態度で受け止めることを求めます。私を慕う人々を、私は決して見捨てません。

「サティヤ サイ ストーリー」 p.65-66

目次

サイは誰か？ 1

- 私が誰であるかを知る者は一人もいませんでした
(帰依者への手紙)
- 私は愛の光を灯すために来ました
- 私はあなたの中に、あなたは私の中に
- 私の人生は、私のメッセージの解説 2
- 悪人は滅ぼされるのではなく、変容する
- 私の主な仕事はヴェーダの復興
- あなたを束縛するものではなく、あなたを救うものを
求め、手に入れなさい 3

質問

感謝 4

- 私が最も好む礼拝
- 感謝の表明は祈りそのものである
- 御名を口にし、その甘美さに思いを馳せなさい 5
- 純粋なハートを神に捧げなさい
- あなたの人格と振る舞いを改善しなさい
- 私を頼りにしなさい 6

質問

保証 7

- 黄金時代の到来
- 私の持つすべての力はあなたのため 8
- 私の恩寵を求めなさい
- 私の恩寵は常にあります
- 主は決してあなたを見捨てません 9
- あなたがどこにしようとも、私はあなたのところへ
行きます

質問



Bhagawan Sri Satguru Sri Baba

PRASANTHI NILAYAM P.O.

ANANTPUR, DT. (A.P.)

PHONE NO. 33

There was no one to know who I am :
Till I created this world at my pleasure
with one word. immediately mountains rose up.
immediately rivers started running. earth below
and sky over its head oceans, seas lands and
watersheds Sun, moon and desert-sands sprang
up from on where to prove my existence
came all forms of human beings mankind
beasts and birds flying, speaking hearing
and all powers, were bestowed upon them
under my orders. The first place was granted
to mankind and my knowledge was placed
in (his) mind.

Come one come all Let us not be
ungrateful called. Let ^{us} ~~me~~ faithfully serve (SAI)
Him and Love Him Love Him Love Him

With Blessings

Sri Satguru Sri

Pam

サイは誰か？

私が誰であるかを知る者は一人もいませんでした（帰依者への手紙）

私が自ら望んで、一つの言葉でこの世界を創造するまで、私が誰であるかを知る者は一人もいませんでした。即座に山々がそびえ立ちました。即座に河川が流れ始めました。下に地面、頭上に空。大海原、海、陸、流域。太陽、月、砂漠の砂がどこからともなく現れて、私がいることを証明しました。あらゆる姿の人間、人類、獣、飛ぶ鳥が現れました。私の命令で、話す力、聞く力、あらゆる力が彼らに授けられました。頂点に立つのは人類で、その心の中に私の知恵が収められました。皆、おいでなさい。恩知らずと呼ばれることがないようにしましょう。忠実に神（サイ）に仕え、神を愛しましょう。神を愛しましょう。神を愛しましょう。

祝福を込めて

シュリ サティヤ サイババ

出典元: Divine Whispers – Compilation of letters

（神の呟き—私信集）

出版：シャーム スンデル博士とサティヤ サイ大学の寮生たち

※前ページの画像がその手紙のコピーです

私は愛の光を灯すために来ました

私は、あなた方のハートに愛の光を灯し、その光の輝きが日ごとに増していくのを見届けるために来ました。私は、ヒンドゥー教のダルマといったような、特定のダルマを話すために来たものではありません。私はいかなる宗派、信条、主義を広める目的のために来たのでもなければ、いかなる教義の信奉者を集めに来たのでもありません。私は、信奉者や帰依者を自分の信者として引きつけようとはまったく思いません。私は、普遍的な唯一の信仰、アトマの原理、愛の道、愛のダルマ、愛の義務、愛の責務を、あなた方に教えるためにやって来たのです。

1968年7月4日の御講話

私はあなたの中に、あなたは私の中に

私には、人々を私の他の名前と姿への崇拜から離して私の方へ引き寄せようという望みはありません。皆さんは、私が人々を、私に、私だけに引き付けるため、執心させるために、皆さんが奇跡と呼んでいるものを私が行っているのだと憶測しているかもしれません。それらには宣伝や広告の意図などありません。それらはただ自然に起こるものであり、神の威光に付随する印にすぎません。これまでも、これから先もずっと、私は皆さんのものであり、皆さんは私のものです。魅了し、感銘を与えるには何が必要でしょうか、あなたの愛や私の慈悲を表現するためには何が必要でしょうか？ 私はあなたの中にいます。あなたは私の中にいます。そこに距離や区別はありません。

1968年11月23日の御講話

私の人生は、私のメッセージの解説

私があなた方がするように食べ、あなた方がするように動き、あなた方の言語で話し、あなた方が認識し理解できるように行動するのは、私のためではなく、あなた方のためなのです！あなた方の中に、あなた方自身の一人として、あなた方が見、聞き、話し、触れ、尊敬と献身をもって接することのできる一人として存在することによって、私はあなた方の信頼、愛、従順さを獲得し、あなた方を神へと向かわせます。私の計画は、あなた方を真理の探求者へと変容させることです。

私はいつでもどこにでも存在しています。私の意志はあらゆる障害物を乗り越えるはずです。私は過去、現在、未来、あなたの心の奥底にある考えや注意深く守られた秘密を知っています。私は遍在であり、全能であり、全知です。しかし、私はこれらの力を気まぐれに、あるいは単に見せびらかすために発揮するのではありません。なぜなら、何をするにしても、しないにしても、私が手本であり、感化する存在であるからです。私の人生は、私のメッセージの解説です。

1970年10月11日の御講話

悪人は滅ぼされるのではなく、変容する

ラーマやクリシュナや他のアヴァターたちは、正しい（ダルマ的な）生き方の敵とみなされた一人または何人かの人物を殺して、美德の実践を回復させる必要がありました。しかし現代では、完全な善人はいません。それでは、神を守るのにふさわしいのは誰でしょうか？万人が邪悪に汚染されています。それでは、アヴァターが悪を根絶やしにすると決意したら、いったい誰が生き残るのでしょうか？それゆえ、私はさまざまな方法で知性（ブッディ）を正さなければなりません。万人の友や支援者として、彼らが邪悪な傾向を手放して、まっすぐな道を受け入れ、それを歩み、最終目的地に到達できるように、助言し、助け、命令し、落ち度を指摘し、力を貸さなければなりません。私は、ヴェーダ、聖典（シャーストラ）、規範を定めた聖典の価値を人々に示さなければなりません。

1964年11月23日の御講話

私の主な仕事はヴェーダの復興

私の仕事は、単に人を癒したり慰めたり、不幸を取り除くことではありません。それよりもはるかに重要です。マンゴーの木の重要な仕事は、マンゴーの実を作り出すことです。マンゴーの葉や枝や木を刈り込むことは、間違いなくそれなりに役に立ちますが、一番の目的は果実です。同様に、バナナの木から得られる主な収穫物は果実です。バナナの葉も、食用となる茎の芯も、すべて二次的なものです。それと同じように、私の使命にとっては、不幸や苦悩を取り除くことは、二次的なものです。私の主な仕事は、インド（バーラタヴァルシャ）の中心にヴェーダと聖典（シャーストラ）を復興させ、それらに関する知識を人々の中に呼び起こすことです。この仕事は成功するでしょう。どんな障害にも邪魔されることはありません。制限されることも、遅れることもないでしょう。主が決意し、意志した時、その決意（サンカルパ）を妨げることはできません。それが妨げられることはないのです。

1964年12月17日の御講話

あなたを束縛するものではなく、あなたを救うものを求め、手に入れなさい

あなた方のほとんどは、私からつまらない物やゴミ、些細な治療や昇進、喜びや快適さをもたらすために来ています。私が与えるために来たもの、すなわち解脱そのものを私から得たいと願う者はほとんどいません。その少ない人々の中で、霊性修行の道を貫き通して成功するのはほんの一握りだけです。多くの人は、聖者のような外見、長いガウン、ひげ、数珠、もじゃもじゃの髪などに引き寄せられ、この国でのそのような人物の動向を把握し、荒野まで追いかけていきます。神の顕現を明確に区分することは非常に難しいので、私は自ら名乗り出て、自分の使命、任務、特徴、他とは違う神の化身の特質を自分自身で説明しています。快適さや富を渴望してはなりません。至福（アーナンダ）を渴望しなさい。もしあなたに信仰があり、ラーマの御名を忠実な友とするのであれば、あなたは常に天国（ヴァイクンタまたはカイラス）にいます。それは、苦難に満ちた旅の末に到達しなければならない遠方の地ではなく、あなた自身のハートの中にある静寂の泉です。喜びのあらゆる源の最高位の近くにいるというこのチャンスは、他の場所では得られません。ここでは、それはとても近くにあり、容易に手に入り、恩寵に満ちています。もし後ずさりするなら、二度とこのチャンスを得ることはできないでしょう。あなたを束縛するものではなく、あなたを救うものを求め、手に入れなさい。あなた方は私に、この世にある物体を千も要求してきますが、「私」を求めることは滅多にありません。

1963年2月4日の御講話

質問

- ・ スワミの使命は、ラーマやクリシュナなど、これまでのアヴァターとどのように違いますか？
- ・ スワミは、自分は愛のランプを灯すために来た、とおっしゃっています。この任務の一部としての私たちに、スワミは何を期待されているのだと思いますか？
- ・ 私たちはスワミに何を求めるべきでしょうか？

感謝

私が最も好む礼拝

マーナサ バジャレー グル チャラナム
ドウスタラ バヴァ サーガラ タラナム
おお、心よ！グルの御足を崇めなさい
そうすれば、輪廻の大海を渡ることができる

いつ終わるとも知れない生死の輪廻に苦しむ人々すべてに、私は霊性の師（グル）の御足を崇めなさいと呼びかけました。そのグルは、神に助けを求める人々の重荷を自ら背負うために、再びやって来て、自分は神であると名乗っています。それが人類に対する私の最初のメッセージでした。マーナサ バジャレー、すなわち、心の内で神を崇めなさい。あなた方がお金を出して手に入れた物や果物や花輪は、私に必要ありません。それらは本当はあなたのものではないのです。あなたのもの、清浄で、美德の芳香が漂い、純粹無垢で、悔い改めの涙で洗われたものを、私に捧げなさい！ あなたは、信愛を誇示するために、他人に見せびらかすために、花輪や果物を持参しています。そのようなものを買うことができない貧しい帰依者たちは、己の無力を恥じて、悲しんでいます。彼らには、あなたがしているような豪勢なやり方で、自分の信愛を示すことができません。あなたのハートに神を安置し、あなたの行為という果物と、あなたの内なる思いと気持ちという花を捧げなさい。それが私の最も好む礼拝であり、最も評価する信愛です。

1953年10月17日の御講話

感謝の表明は祈りそのものである

なぜ神の御名を唱える必要があるのでしょうか？なぜ神に祈らなければならないのでしょうか？この広大な世界とそこに住むすべての生き物を創造し、食べるもの、呼吸する空気、飲む水を与えてくれた神に感謝することが、私たちの義務なのではありませんか？そればかりでなく、神は、すべての生き物がこの地球上で生き続けるために必要なものもすべて与えているのです

もしあなたのハンカチが落下して、誰かがそれを拾い、あなたに渡してくれたら、あなたはその人に感謝します。このような小さな手助けに対しても、あなたは「ありがとう」と言います。それなら、あなたにこれほど多くのものを与えてくれた神に感謝を表すことは、あなたの義務ではないのですか？

感謝の表明は祈りそのものです。祈りは何をするのでしょうか？果てしなく、目には見えず、すべてを超越した内なる神性を呼び覚ますのが祈りなのです。

1996年8月17日の御講話

御名を口にし、その甘美さに思いを馳せなさい

私が到着して、教え、霊的な指示を与えたにもかかわらず、あなた方はまだこの霊性修行を始めていません。このことを私がどれほど残念に感じているか、あなた方にわかりますか？ あなた方はただ私を賞賛し、やれ恩寵の宝庫だ、やれ至福の海だ、などとお世辞を言うばかりです。御名を口にし、その甘美さに思いを馳せなさい。御名を吸収し、あなたの舌の上で転がし、そのエッセンスを味わい、その素晴らしさを瞑想し、御名をあなたの一部としなさい。そして霊的歓喜の中で強く成長しなさい。それが私を喜ばせることです。

1960年12月28日の御講話

純粋なハートを神に捧げなさい

覚えておきなさい。勝利を収めるのは、外的なものを超越した人です。主は外的なものを喜びません。主が探し求めるのは、気持ち、内面の促しです。私は、あなたが私のところに来る時に、両手に抱えて持って来る花や果物やその他の包みは欲しくありません。「あなたから来たものではないものとは、私はあなたに何を差し上げればいいのでしょうか？」と言いながら、手ぶらで来なさい。「あなたが私にこのハートをくださった時、それはきれいで純粋でした。これまで生きてきた人生においては、その器で食べ物を調理した後、そこで調理されたものの匂いや印象の痕跡をすべて消し去り、あなたが私にくださった時と同じくらいきれいで純粋にしてから、あなたに捧げています」そう言って、ハートを捧げなさい。

1961年11月22日の御講話

あなたの人格と振る舞いを改善しなさい

あなたはどのようにして私に至福（アーナンダ）をもたらしますか？ 私の語る言葉をハートで受け止め、毎日実行に移すことによって。高潔な行動をすると決意しながら、低劣な行為に惹かれるあなたは、あなた自身を裏切っているのです。あなたの気持ちが浄化され、あなたの衝動が清らかになる時、あなたは本当の私の姿を見ることができます。一言で言います。誤解することなく私を理解するために、知性を用いなさい。知性をまっすぐ研ぎ澄ませなさい。今、私はあなたの手の内にあります。私はあなたが探し求めてきた宝そのものなのです。なぜならあなたと私は、世俗的な関係ではなく、アートマ的な関係であるからです。

1960年9月29日の御講話

私を頼りにしなさい

プッタパルティのサイババが何を与えるかを、数えたり計算したりしてはなりません。私はあなたを自分に惹き付けるために与えているのではありません。ただあなたを至福（アーナンダ）で満たすだけのために与えているのです。至福を降り注ぐことが私の仕事です。私は、あなたから賞賛されたいとは思っていません。あなたが私を頼りにするなら、私は満足するでしょう。

1960年9月29日の御講話

質問

- ・ 私たちはスワミに何を感謝すべきなのでしょう？
- ・ 帰依者である私たちは、時々、困難に遭遇します。どうしたらスワミに感謝し続けられるでしょうか？
- ・ スワミは私たちに何を期待なさっているのでしょうか？

保証

黄金時代の到来

物事が改善され、すべての人の生活が幸せで喜びに満ちたものになり、黄金時代が再びやってくると信じることに抵抗のある人がたくさんいます。この正義の化身（ダルマ スワルーパ）が無駄に来たのではないということを、私はあなた方に保証しましょう。それは、人類に訪れた危機を回避することに成功するでしょう。

1965年3月3日の御講話

信じようが信じまいが、今後20～30年のうちに、全人類は一つになるでしょう。ヒンドゥー教徒、イスラム教徒、キリスト教徒など、あらゆる宗教の人々が団結するでしょう。世界には完全な一体性がもたらされるでしょう。神への信愛という精神が世界の他の地域すべてに広がるのは、バーラタ（インド）からです。この真理をあなたのハートの中に大切に保管しておきなさい。

2008年5月31日の御講話

四本の足とは、サティヤ（真理）、ダーヤ（哀れみ）、タパス（精神的苦行）、ダーナ（慈善）です。人間がこの四本の足をすべて持っているなら、暦の上では何のユガであっても、その人は黄金時代（クリターユガ）の中にいると言えるでしょう。もしその人の中で真理がぐらついていても、他の三つの性質を有しているなら、その人はトレターユガにいます。真理と哀れみの両方が欠けていて、苦行と慈善が残っているなら、その人はドワーパラユガにいます。しかし四本の足のうち慈善のみが存続しているなら、ダルマは一本の足で立っているようなものであり、他のすべてがなくなったとしても慈善を守り通す人は、たとえ年代上は黄金時代（クリターユガ）にいたとしても、鉄の時代（カリユガ）にいます。

単に時間が経過したからではなく、ダルマが変化したことによって、初めて時代（ユガ）が変わります。邪悪なヒランニャカシプ〔魔王〕と純真なプラフラーダ〔ヒランニャカシプの息子〕はどちらも、年代的にはまったく同じ時代に生きていました。正義と平安（シャーンティ）の権化であったダルマラージャと、悪賢い詐欺師のドウルヨーダナは同じ時代にいました。それぞれの時代を決めるのはダルマなのです。もし、ダルマの四つの特質すべてを備えているなら、その人は常に黄金時代（クリターユガ）にいます。人間の振る舞いが、偉業を成し遂げたり、歴史に汚点を残したり、黄金の時代を鉄の時代へと変えたりするのは、その振る舞いによるのです。

ダルマ ヴァーヒニー 第9章

私の持つすべての力はあなたのため

たとえあなたが私を否定しようとも、あなたは私の宝です。たとえあなたが「違う」と言おうとも、私はあなたの宝です。私はあなたに優しく接し、あなたと共にいるでしょう。私の管理下で私の財産を安全に保護するため、私はあらゆるトラブルを取り去ります。つまりあなたがどのような名で神を呼ぼうとも、その神の監督下に置くのです。私が持っているすべての力は、あなたのためにあります。私は単なる店であり、あなたが求めるものをいつでもあなたに渡すことができるように準備を整えています。たとえあなたが求めなくても、私は愛（プレーマ）を与えます。なぜならそれを共有することがあなたの権利なのですから。私からあれやこれやをもらえなかったと文句を言う人がいます。しかしそれは彼らの視野があまりにも狭量で、現在またはごく近い将来しか見ていないからです。その一方で、私はこれから何が起こるかを知っています。ですから、より大きな苦難から彼らを守らなければならないのです。彼らは私を非難し、悪口雑言を浴びせますが、私は決して彼らを見捨てません。私は誰にも左右されないことを、覚えておきなさい。誰一人として、ほんのわずかでも、私の振る舞いを左右したり、私の進もうとする道を変えたりすることはできません。私はすべての主なのです。しかし、あなたにはこのことを言うておきましょう。私が厳しい言葉を発したり、誰かを「罰したり」するのは、彼らに対する愛（プレーマ）があり、彼らの過ちを正して、より良い道具になって欲しいと思っているからなのです。もし彼らが私のものでないのなら、私は彼らを見捨て、彼らが墮落してもまったく気にも留めないでしょう。私には、私のものだと思っている人々を叱責する権利があります。私はまた、彼らが私の言葉を重視していて、私が彼らに厳しく接したら悲しむであろうということも知っています。愚かな人々の無責任な発言によって、あなたがいつも簡単に私から離れてしまうのは、あなたの気まぐれな心のせいです。

1960年9月29日の御講話

私の恩寵を求めなさい

私を遠く離れたものではなく、とてもあなたに近いものと見なしなさい。私に恩寵を主張し、要求し、請求しなさい。賞賛し、誉めそやし、へつらうのではなく。あなたのハートを私のところに持ってきて、私のハートを勝ち得なさい。あなたの方の誰一人、私にとって見知らぬ人はいません。あなたの約束を私のもとに持ってきなさい。そうすれば、私はあなたに私の約束を与えます。けれども、まず、あなたの約束が真実で、誠実であるかどうかを見なさい。あなたのハートが清らかであるかどうかを見なさい。それで十分です。

1961年10月10日の御講話

私の恩寵は常にあります

私の中には憎しみも怒りもありません。私の活力の元は愛（プレーマ）です。私は慈悲（ダヤー）の宝庫です。私と私の性質を正しく理解しなさい。湖水に映る月影は、さざ波のせいで揺れ動いているように見えます。しかし、見上げれば、いつものように変わらない月が見えます。私は常に変わりません。私の恩寵は常にあります。外に向かう目で見れば、私の行いは魔術や奇跡に見えるでしょうが、内面に向かう目で見ればすべては神聖遊戯（リーラー）なのです。物質化を行う手は、与える手でもあります。遠慮することはありません。それは常にあなたのためにあり、あなただけのためにあります。これが私の真実です。このことを知り、幸せでいなさい。

1961年10月21日の御講話

主は決してあなたを見捨てません

永遠にあなたと関わりを持つ主を拒絶して、ほんの数日しかあなたと関わりを持たないこの世に惑わされるのは正しいことではありません！ 既に書かれているように、「身内は墓場の入口か、墓場までなら付いてくるやもしれないが、真の身内は主のみぞ、心せよ!」ということです。

主は決してあなたを見捨てません。あなたが経てきた過去生の数を考えてみれば、あなたには数えきれないほどの母親、父親、妻、夫、息子、娘、友人、敵がいました。その人たちは今、生存していますか？ その人たちは、あなたとの関係を覚えていますか？ もはや、あなたは那些人たちにとって何者でもなく、あなたにとってその人たちは何者でもありません。しかし、あなたにも、その人たちにも、変わることはない身内である共通の主がいます。主は、すべての生を通じて存在しています。主は永遠です。主は、生から生へとずっとあなたを見守っています。そのような主を忘れることより大きな悲劇がありえるでしょうか？

ディヤーナ ヴァーヒニー第8章
「坐禅の源流 ディヤーナ ヴァーヒニー ～修行としての瞑想」 p.86-87

あなたがどこにしようとも、私はあなたのところへ行きます

神に没頭している人々だけが、私にとって愛しく、私の親しい友人です。もしあなたがスワミの親しい友人になりたいのであれば、神聖な振る舞いをしなさい。もしそうするなら、あなたはここに来る必要はありません。あなたがどこにしようとも、私があなたのところへ行くでしょう。あなたがどこに滞在しようとも、私はそこへ行くでしょう。私はあなたと共に、あなたの中に、あなたの周りに、あなたの後ろにいます。私とあなたは別々ではありません。私とあなたは一つです。

1999年11月21日の御講話

質問

- ・ 自分が霊的に進歩しているかどうかは、どうすればわかりますか？
- ・ スワミの恩寵は、私たちの過去の行為の影響に打ち勝つことができますか？
- ・ どうしたら、体験を求めることなく、信仰を強めることができるのでしょうか？
- ・ 人類は一つである、ということについて、スワミはどのようにおっしゃっていますか？



Sri Sathya Sai Scriptural Studies Committee
©2021 Sri Sathya Sai International Organization, All Rights Reserved
無断転載禁止
sathyasai.org

